

こども食堂とフードバンクで地域のこどもを支える

佐賀県唐津市
NPO法人KARATSU





佐賀県唐津市にある唐津湾沿いに、松が美しく連なっている。唐津藩の初代藩主寺沢広高が、防風・防潮林として植林したのが始まりで、全長約4.5km、幅約500mにわたって、約100万本の松林が続いている。今では、三保の松原、気比の松原とともに日本三大松原の一つに数えられる、国の特別名勝に指定されている。そんな風光明媚な場所の近くで、地域の子どもの毎日を支える、子ども食堂とフードバンクを運営しているNPO法人KARASTUの取り組みを取材した。

KARASTUが運営している「子ども食堂かがみ」は2020年11月からはじめた。この子ども食堂は、佐賀県でも一番の生徒数を抱える、鏡山小学校の学区にある。この地域は、福岡県の都市部へのアクセスの良さや、大学の付属校があることなどから、子育て世帯の人口が増え、新興住宅地となっている。

子ども食堂をはじめたきっかけについて、生駒さんはこう語る。「不動産業を営む親が空手道場などを開いていました。そこに来ていた子どもたちが大人になり、唐津に戻ってきて、今度は彼らが子育てをしている姿を見ました。そのような環境を持続していくためには、地域でつながりを育むことができる子ども食堂をつくりたいと思ったのです」。

子ども食堂かがみの取り組みは、小学校で配布されるチラシやSNSなどを通じて地域に広まり、子どもたちだけでも来られる場所となっていた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会食形式での開催が難しくなったため、弁当の配布に切り替え、これまで続けている。

取材日の朝9時、会場に到着すると、すでにボランティア





アの方が調理を始めていた。この日のメニューは、かしわごはん、からあげ、春巻、野菜サラダ、野菜炒め、さつま芋の天ぷら、きんかん、大根の漬物、スパゲッティとボリウム満点。普段は高校生ボランティアも活躍しているが、この日は地域のボランティアが中心となり、和やかな雰囲気の中で50食を手際よく作っていた。活動に参加して良かったことを尋ねると、「気心のしれた仲間と一緒にボランティアをすることがとても楽しい。作ったお弁当を子どもたちが喜んでくれるだけで本当に嬉しい」との声が返ってきた。実際に活動をしていると、子どもを取り巻く様々な環境が見えてくるという。サポートが必要な子どもと出会うことがあり、地域の子どもを支えるためにも欠かせない場所になっている。

午前11時、お弁当の配布が始まる。この日は野菜などの配布もあり、食材がずらりと並ぶ。親子で受け取りに来ていたお母さんに話を聞くことができた。「このこども食堂を知ったのは4年前です。近所を通りかかったときに活動を見かけ、検索して利用するようになりました。いつもお昼ごはんとして本当に助かっています。以前、ランドセルをいただいたこともあり、子どもがとても喜びました。普通なら祖父母に買ってもらうのですが、ここでは色まで選べて、好きな色のランドセルをいただけただけに感謝しています」。

フードバンクの取り組みは、2022年3月、佐賀県における2番目のフードバンクとして始まった。余剰食品や寄付された食料を適切に保管し、佐賀県西北部地区のこども食堂、生活困窮世帯、一人暮らしの高齢者、福祉施設などに供給している。さらに、フードドライブ、唐津市内合





地域の子どもたちを食で支えるNPO法人KARATSU。代表の生駒さんに、これからの想いを聞いた。「どんな家庭の子でも、地域の中であなたがたく迎え入れられる場をつくりたい。子どもたちが安心して『ここにいたい』と思えるような居場所を、これからも地域の人たちと一緒に育てていきたいです」。

【連絡先】 NPO法人KARATSU
 TEL : 080-5276-4561
 メール : karatsu@k-fuji.co.jp

同での子ども食堂のイベント、制服・文房具・ランドセルなどの学用品の提供、高校生による一人暮らしの高齢者への生活支援などの活動も行っている。フードバンク設立の経緯について、「子ども食堂をしていると、大量に寄付が集まってくる。その寄付されたものをこただけではなく、別の子ども食堂に配布できるような仕組みを作りたいと思いい、フードバンクが出来た」と生駒さん。野菜は農家や農業試験場から、地域の食品企業などからは、肉などの冷蔵・冷凍品の寄付もある。仕分けの作業は、近隣の高校生などがボランティアで担当してくれている。

また、KARATSUを含む県内3つのフードバンクが連携して設立された「佐賀県フードバンク連絡会」が主催となり、1月5日から31日まで、県内一斉フードドライブが行われた。家庭で余っている食料品を、企業や行政の施設などに持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体に寄付する取り組みで、県内のコンビニ、スーパー、企業などの97箇所に回収場所が設置され、佐賀県全体で展開された。

